

広報

8 2026
月号

No. 1175

こほえつ

koho joetsu

上越市
公式SNSは
こちらから



この線路は、未来へつづく

新潟県鉄道発祥140周年

特集

新潟の近代をひらいた鉄道

特集 新潟の近代をひらいた鉄道

■問合せ…観光推進課(☎025-520-5739)

写真:二本木駅のスイッチバックとホームへ向かう車両

明治19年、官営鉄道直江津線 直江津－関山間が開業し、新潟県で初めての鉄道として、地域の人や物の流れを変え、まちの発展を支えてきました。今号では、開業140周年の節目に、鉄道のあゆみと鉄道を未来へつなぐまちづくりに取り組む皆さんの思いを紹介します。

このまちに鉄道が走るまで

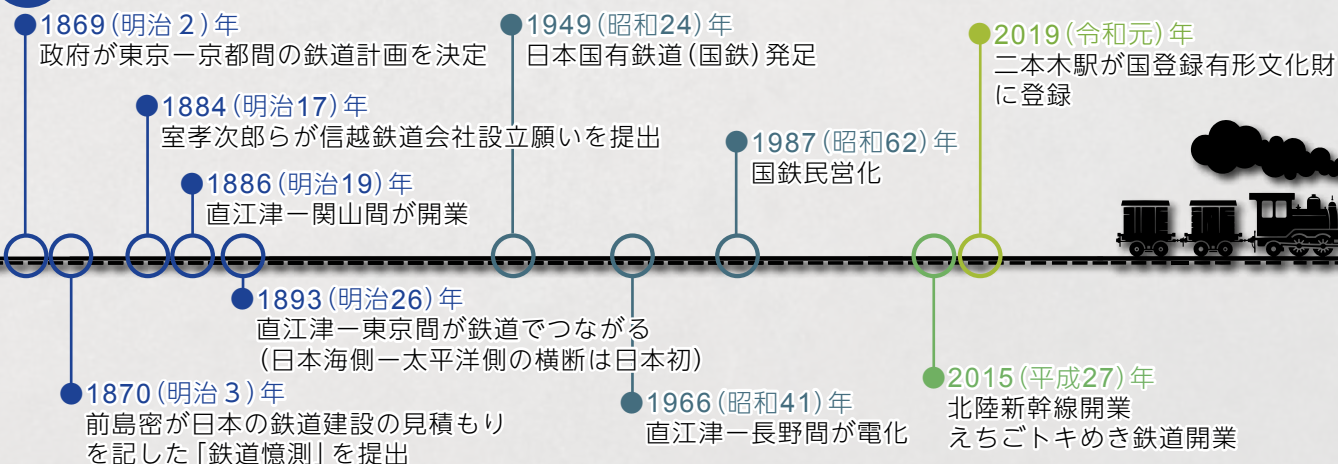
明治のはじめ、政府は東京と京都を結ぶ鉄道を中山道沿いに建設する計画を進めていました。この時、海外から輸入した鉄道資材を運び入れる港として注目されたのが、北前船の寄港地でもあった直江津です。また、上越地域では室孝次郎らが日本海側と東京を結ぶ鉄道の建設を訴え、国へ働きかけていました。こうした動きの中、直江津から関山までの鉄道の建設が進み、1886（明治19）年8月15日、新潟県初の鉄道として官営鉄道直江津線（直江津－関山間29.4km）が開業しました。



開業当初の直江津駅の図

※現在の直江津D51レールパーク付近
出典：直江津及び郷津湾仁図附五智細図（東日本鉄道OB会直江津支部提供）

現在までの主な出来事



鉄道のまちを未来へつなぐ

東日本鉄道OB会 直江津支部



牛木支部長

会員同士の交流に加え、無人駅の清掃や幼児向けのジオラマを使った鉄道事故防止活動、五智交通公園のSL保存清掃活動などを行っています。鉄道は単なる移動手段ではなく、人や物の流れを生み出し、新しい時代を切りひらいてきたことを、より多くの地域の皆さんや上越を訪れる人に感じてほしいです。私たちの活動が、先人たちの鉄道に託した思いを未来へ受け継いでいくきっかけになればうれしいです。



毎年恒例のSL清掃活動では、子どもから高齢者までが集まり、1938（昭和13）年に製造された実物のSLに触れることができる貴重な機会となっている。

NPO 法人中郷区まちづくり振興会



岡田理事長

地域にあるものを生かし、二本木駅鉄道まつりや駅の待合室を改修した「喫茶なかごうさとまる一む」の運営に取り組んできました。二本木駅は無人駅になりましたが、地元の皆さんの憩いの場として、また訪れる人を迎える場所として、駅に明かりを灯し続けることが私たちの役目だと考えています。小さな積み重ねでも、継続することで地域の誇りを未来につないでいきたいと思っています。



地域内だけでなく、新潟大学の学生とも連携し、雪月花のお出迎えや二本木駅鉄道まつりなど、二本木駅を活用した地域活性化に取り組んでいる。

えちごトキめき鉄道株式会社



平井社長

140周年は、鉄道のまちである直江津を発展させていく新たな出発点だと思っています。安全で快適な列車の運行や雪月花などの観光列車でのおもてなしはもちろん、今年も開催した「直江津駅ビアガーデン」のように、駅や鉄道を皆さんが集う場の一つとして、身近に感じていただきたいです。新潟県鉄道発祥の地としての歴史を地域の誇りとして未来へつなぐ、これからも地域に愛される鉄道であり続けたいです。



昨年からスタートし、今年も好評の直江津駅ビアガーデンは、多くの人が駅に集まり、鉄道を使うきっかけづくりにもなっている。

8月8日(土) 直江津～関山間 鉄道開通140周年記念イベント

午前8時40分～ 直江津^{えき}タイムトリップミニツアー

直江津駅周辺に残る“鉄道のレガシー”を巡って歩きます。

▶集合…直江津駅北口 ▶定員…40人（要事前申し込み、参加費無料）

午前10時～ パネルディスカッション

「鉄道発祥のまち、その先の未来へ！」をテーマに、東日本鉄道OB会直江津支部長、えちごトキめき鉄道株社長、上越市長の3人で話します。

▶ところ…ホテルハイマート ▶定員…80人（要事前申し込み、参加費無料）

午前11時45分～ 記念モニュメントお披露目

140年の節目を記念し、モニュメントを新設します。

▶ところ…直江津駅北口

詳しくは



駅弁フェアを開催します

直江津駅で県内の名物駅弁を販売します。

▶とき…8月8日(土)、15日(土)
午前11時～午後3時
（売り切れ次第終了）